

野村グローバルAI関連株式ファンド Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）

野村グローバルAI関連株式ファンド Aコース/Bコース

運用報告書(全体版)

第7期（決算日2020年11月16日）

作成対象期間（2020年5月15日～2020年11月16日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース	Bコース
商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2017年2月23日から2027年11月15日までです。	
運用方針	野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、主として新興国を含む世界各国のAI（人工知能）技術関連の株式（DR（預託証券）を含みます。）に実質的に投資し、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。 実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジ（先進国通貨等による代替ヘッジを含みます。）により為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。	実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行います。
主な投資対象	野村グローバルAI関連株式ファンド Aコース/Bコース マザーファンド	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。 新興国を含む世界各国のAI（人工知能）技術関連の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村グローバルAI関連株式ファンド Aコース/Bコース マザーファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。 株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<Aコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			株組 入比率	株式 先物比率	純資 産額
		税 分	込 配	み 金			
	円		円		%	%	百万円
3期(2018年11月14日)	12,135		200		△ 3.7	94.9	143,741
4期(2019年5月14日)	12,482		200		4.5	96.0	128,032
5期(2019年11月14日)	12,945		250		5.7	96.0	112,355
6期(2020年5月14日)	12,604		250		△ 0.7	95.6	96,038
7期(2020年11月16日)	15,220		300		23.1	98.0	101,107

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* 当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行なっており、また、当ファンドの主要投資対象であるAI技術関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率
		騰 落	率		
(期首) 2020年5月14日	円		%	%	%
	12,604		—	95.6	—
5月末	13,281		5.4	94.6	—
6月末	13,765		9.2	98.3	—
7月末	14,546		15.4	96.6	—
8月末	15,810		25.4	96.0	—
9月末	15,264		21.1	93.9	—
10月末	15,231		20.8	95.4	—
(期末) 2020年11月16日	15,520		23.1	98.0	—

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Bコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価 額			株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落 率			
	円		円		%	%	百万円
3期(2018年11月14日)	12,713		200		0.8	94.9	160,938
4期(2019年5月14日)	12,797		200		2.2	96.0	137,041
5期(2019年11月14日)	13,358		250		6.3	96.0	119,216
6期(2020年5月14日)	12,863		250		△ 1.8	95.6	97,705
7期(2020年11月16日)	15,401		300		22.1	98.0	100,111

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* 当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行なっており、また、当ファンドの主要投資対象であるAI技術関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落	率		
(期 首) 2020年5月14日	円		%	%	%
	12,863		—	95.6	—
5月末	13,652		6.1	94.6	—
6月末	14,202		10.4	98.3	—
7月末	14,640		13.8	97.3	—
8月末	16,052		24.8	96.0	—
9月末	15,560		21.0	93.9	—
10月末	15,372		19.5	95.4	—
(期 末) 2020年11月16日	15,701		22.1	98.0	—

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

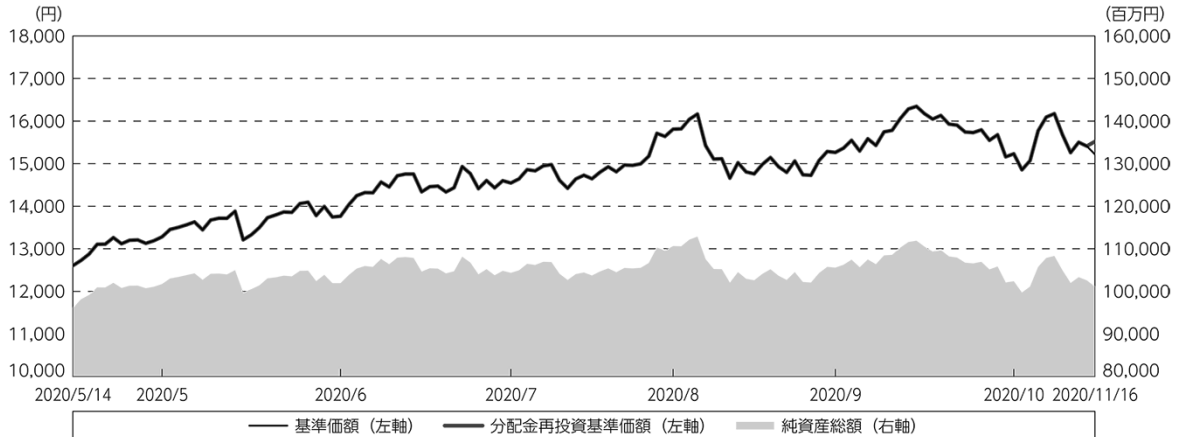
* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Aコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：12,604円

期 末：15,220円 (既払分配金(税込み)：300円)

騰落率： 23.1% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2020年5月14日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

(上昇) 新型コロナウイルスのワクチン開発の進展が期待されたこと、EU(欧州連合)による復興計画案が公表されたこと、6月の米雇用統計、7月の米ISM製造業景気指数やユーロ圏製造業PMI(購買担当者景気指数)が市場予想を上回ったこと

(下落) 米中対立の激化や欧米の一部地域での同ウイルスの感染再拡大などを背景に投資家のリスク回避的な動きが強まったこと

(上昇) 9月の米ISM非製造業景気指数やユーロ圏総合PMIが市場予想を上回ったこと

(下落) 欧米で同ウイルスの新規感染者数が急増したこと、米追加経済対策を巡る期待が後退したこと

<Aコース>

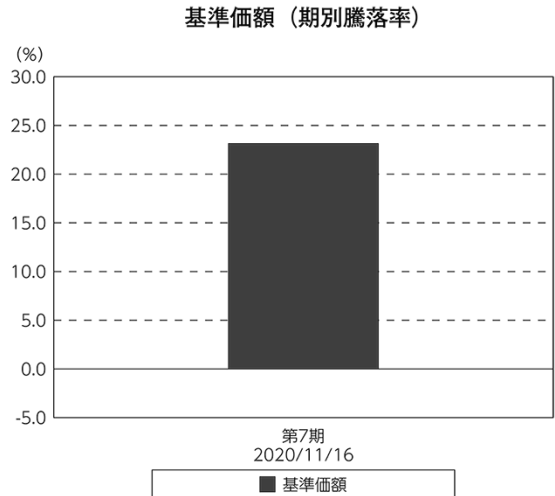
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行なっており、また、当ファンドの主要投資対象であるAI技術関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。

保有銘柄のうち、新型コロナウイルスの感染拡大による影響でeコマース（電子商取引）への需要が高まったことからアマゾン・ドット・コム（米国のインターネット販売・通信販売株）などが上昇したことが基準価額のプラス要因となりました。

一方、発売が期待されていた遺伝子治療薬が米食品医薬品局（FDA）の承認を得られなかったことからバイオマリン・ファーマシューティカル（米国のバイオテクノロジー株）などが下落したことが基準価額のマイナス要因となりました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

◎分配金

- (1) 分配金につきましては、基準価額水準等を勘案して、1万口当たり300円とさせていただきます。
- (2) 留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第7期
	2020年5月15日～ 2020年11月16日
当期分配金	300
(対基準価額比率)	1.933%
当期の収益	300
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	5,220

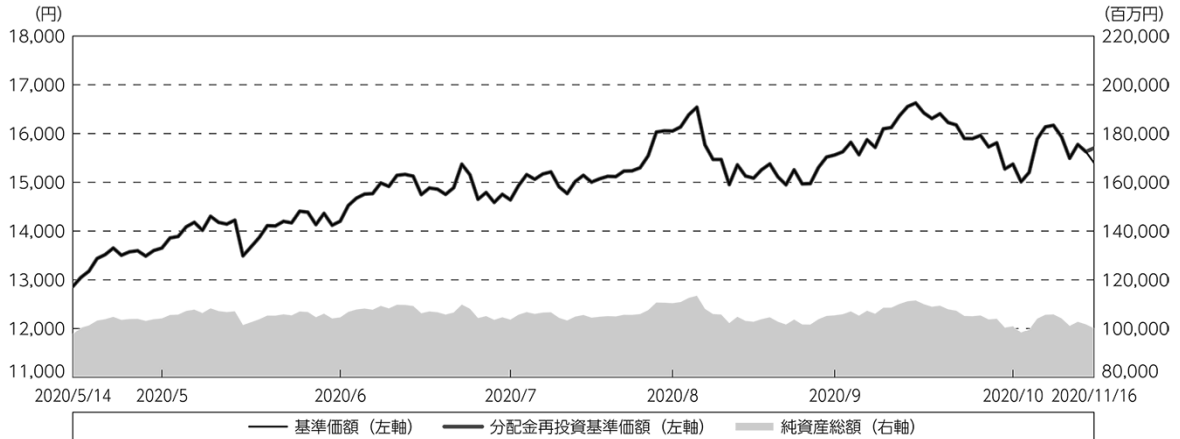
(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Bコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：12,863円

期末：15,401円 (既払分配金(税込み)：300円)

騰落率：22.1% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成年首(2020年5月14日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

- (上昇) 新型コロナウイルスのワクチン開発の進展が期待されたこと、EU(欧州連合)による復興計画案が公表されたこと、6月の米雇用統計、7月の米ISM製造業景気指数やユーロ圏製造業PMI(購買担当者景気指数)が市場予想を上回ったこと
- (下落) 米中対立の激化や欧米の一部地域での同ウイルスの感染再拡大などを背景に投資家のリスク回避的な動きが強まったこと、為替市場で円が上昇(円高)したこと
- (上昇) 9月の米ISM非製造業景気指数やユーロ圏総合PMIが市場予想を上回ったこと
- (下落) 欧米で同ウイルスの新規感染者数が急増したこと、米追加経済対策を巡る期待が後退したこと、為替市場で円が上昇したこと

<Bコース>

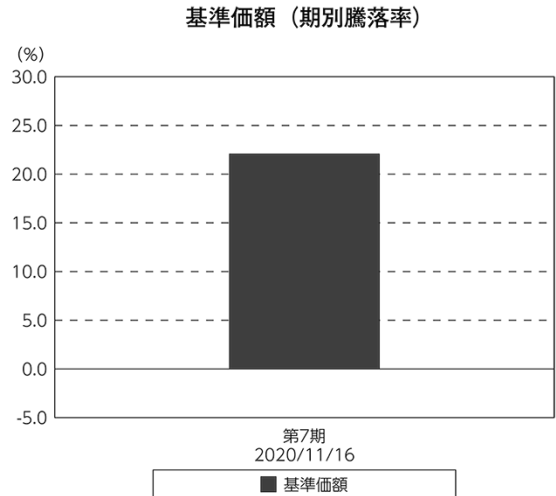
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行なっており、また、当ファンドの主要投資対象であるAI技術関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。

保有銘柄のうち、新型コロナウイルスの感染拡大による影響でeコマース（電子商取引）への需要が高まったことからアマゾン・ドット・コム（米国のインターネット販売・通信販売株）などが上昇したことが基準価額のプラス要因となりました。

一方、発売が期待されていた遺伝子治療薬が米食品医薬品局（FDA）の承認を得られなかったことからバイオマリン・ファーマシューティカル（米国のバイオテクノロジー株）などが下落したことが基準価額のマイナス要因となりました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

◎分配金

- (1) 分配金につきましては、基準価額水準等を勘案して、1万口当たり300円とさせていただきます。
- (2) 留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第7期
	2020年5月15日～ 2020年11月16日
当期分配金	300
(対基準価額比率)	1.911%
当期の収益	300
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	5,400

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Aコース/Bコース>

○投資環境

世界の株式市場は、当期初、新型コロナウイルスのワクチン開発期待やEUによる復興計画案などを背景に上昇して始まりました。6月中旬、欧米での経済活動の一部再開による同ウイルスの感染再拡大が警戒され反落する場面もありましたが、その後は、市場予想を上回る6月の米雇用統計、7月の米ISM製造業景気指数やユーロ圏製造業PMIなどに支えられ上昇基調が継続しました。しかし、9月に入ると、米中対立の激化や欧米の一部地域での同ウイルスの感染再拡大などを背景に投資家のリスク回避的な動きが強まったことなどから反落しましたが、10月上旬、市場予想を上回る9月の米ISM非製造業景気指数やユーロ圏総合PMIを背景に上昇に転じました。その後は、欧米で同ウイルスの新規感染者数が急増したことや米追加経済対策を巡る期待が後退したことなどから反落しましたが、11月上旬から当期末にかけては、同ウイルスのワクチン開発進展の報道が好感され上昇し、当期において世界の株式市場は上昇しました。

一方、為替市場では、世界的な経済活動再開への期待などから投資家のリスク選好姿勢が強まり円安となりましたが、FOMC（米連邦公開市場委員会）でゼロ金利政策の維持が表明され、米国の低金利が長期化するとの観測などから円高に転じました。その後も、米国の一部州での同ウイルス感染者数の増加などを受けた米景気の先行き不透明感や米中対立の激化などから円高基調で推移し、当期末にかけては、同ウイルスのワクチン開発進展の報道を受けて世界的な経済活動再開への期待から円安となる場面もみられたものの、期を通じては米ドル安・円高となりました。

<Aコース/Bコース>

○当ファンドのポートフォリオ

[野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド]

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- (1) 当ファンドでは、世界各国の株式の中から、「IT関連」、「産業関連」、「医療・ヘルスケア関連」等の分野を中心に高度なAI（人工知能）先端技術の研究成果に着目し、AIの活用、実用化によって恩恵を受け、高い成長が期待される企業等に投資を行ないました。結果、AIの活用により中長期で成長が期待されるITセクターなどの投資比率を高めとしました。
- (2) 銘柄につきましては、データセンターなどに用いられる半導体への中長期的な需要の高まりによる恩恵を受けると判断したエヌビディア（米国の半導体・半導体製造装置株）や、AIを活用した自動運転車開発を積極的に行なっており、新型コロナウイルスのワクチン開発進展の報道を受け、世界的な経済活動再開による恩恵が期待できると判断したダイムラー（ドイツの自動車株）などを買付けしました。一方、デジタル広告分野ですでに高いシェアを築いているものの、景気減速による顧客企業のデジタル広告の予算削減の影響を受けやすいと判断したアルファベット（米国のインタラクティブメディアおよびサービス株）や、中長期的なサイバーセキュリティの需要拡大に対する期待は変わらないものの、短期的な業績に対する不透明感が相対的に増したと判断したフォーティネット（米国のソフトウェア株）などを売却しました。

[野村グローバルAI関連株式ファンド Aコース]

- ・主要投資対象である[野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド] 受益証券を期を通じておおむね高位に組み入れました。

・為替ヘッジ（為替の売り予約）

当ファンドの運用の基本方針に従い、実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジ（先進国通貨等による代替ヘッジを含みます。）により為替変動リスクの低減を図りました。

[野村グローバルAI関連株式ファンド Bコース]

- ・主要投資対象である[野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド] 受益証券を期を通じておおむね高位に組み入れました。

・為替ヘッジ（為替の売り予約）

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジは行ないませんでした。

<Aコース/Bコース>

◎今後の運用方針

[野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド]

・投資環境

米国経済は、現金給付などに支えられて個人消費が持ち直し、7-9月期の実質GDP（国内総生産）成長率が前期比年率+33.1%と、市場予想を上回る急回復を示しました。もっとも米国では、新型コロナウイルスの感染再拡大、接戦となった大統領選挙と政治的混乱のリスク、追加経済対策を巡る与野党合意の更なる遅れなど先行き不透明感の強い状況が続いています。こうした中、FRB（米連邦準備制度理事会）は金融緩和姿勢を堅持すると見られます。

・運用方針

当ファンドでは、世界各国の株式の中から、AI先端技術の研究成果に着目し、AIの活用、実用化によって恩恵を受け、高い成長が期待される企業等に投資を行ないます。

外部環境の不透明感が続くなかでも、AI関連などの高成長が期待される分野への注目は引き続き高く、各分野での勝ち組企業がますます強くなるという傾向が目立ちます。加えて、ITセクターだけでなく、幅広い業種や分野でAIを活用した新しい技術やビジネスモデルも普及してきています。引き続き中長期的な競争優位性を見極めることを重視し、銘柄を選択してまいります。

[野村グローバルAI関連株式ファンド Aコース]

主要投資対象である[野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジ（先進国通貨等による代替ヘッジを含みます。）により為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。

[野村グローバルAI関連株式ファンド Bコース]

主要投資対象である[野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質組入外貨建資産については為替ヘッジを行なわない方針です。

今後とも、引き続きご愛顧を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

<Aコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年5月15日～2020年11月16日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	127	0.869	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(62)	(0.420)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(62)	(0.420)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(4)	(0.028)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	4	0.026	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(4)	(0.026)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	1	0.005	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(1)	(0.005)	
(d) そ の 他 費 用	1	0.006	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	133	0.906	
期中の平均基準価額は、14,649円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

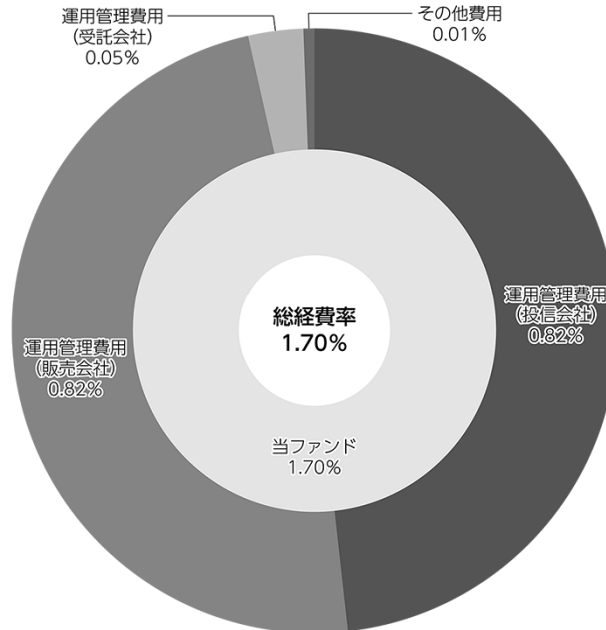
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Aコース>

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.70%です。



(注) 当ファンドの費用は1万円当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<Aコース>

○売買及び取引の状況

(2020年5月15日～2020年11月16日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド	千口 64,010,046	千円 111,645,119	千口 73,384,800	千円 127,525,892

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2020年5月15日～2020年11月16日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	175,249,651千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	200,633,058千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.87

*(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2020年5月15日～2020年11月16日)

利害関係人との取引状況

<野村グローバルAI関連株式ファンド Aコース>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$	
為替先物取引	百万円 256,225	百万円 36	% 0.0	百万円 260,735	百万円 -	% -

<野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド>

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

<Aコース>

○組入資産の明細

(2020年11月16日現在)

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
野村グローバルAI関連株式ファンド	マザーファンド	64,375,080	55,000,326	100,898,098

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2020年11月16日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド	100,898,098	96.4
コール・ローン等、その他	3,812,098	3.6
投資信託財産総額	104,710,196	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（189,771,825千円）の投資信託財産総額（206,009,291千円）に対する比率は92.1%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=104.69円、1ユーロ=123.94円、1香港ドル=13.50円。

<Aコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年11月16日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	198,531,946,724
コール・ローン等	3,073,849,528
野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド(評価額)	100,898,098,140
未収入金	94,559,999,056
(B) 負債	97,424,868,999
未払金	93,871,153,000
未払収益分配金	1,992,908,305
未払解約金	650,773,527
未払信託報酬	908,272,934
未払利息	3,351
その他未払費用	1,757,882
(C) 純資産総額(A-B)	101,107,077,725
元本	66,430,276,834
次期繰越損益金	34,676,800,891
(D) 受益権総口数	66,430,276,834口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,220円

(注) 期首元本額は76,193,709,484円、期中追加設定元本額は2,201,077,386円、期中一部解約元本額は11,964,510,036円、1口当たり純資産額は15,220円です。

○損益の状況 (2020年5月15日～2020年11月16日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 142,576
支払利息	△ 142,576
(B) 有価証券売買損益	20,055,047,161
売買益	23,672,695,214
売買損	△ 3,617,648,053
(C) 信託報酬等	△ 910,030,816
(D) 当期損益金(A+B+C)	19,144,873,769
(E) 前期繰越損益金	8,653,552,211
(F) 追加信託差損益金	8,871,283,216
(配当等相当額)	(5,309,222,806)
(売買損益相当額)	(3,562,060,410)
(G) 計(D+E+F)	36,669,709,196
(H) 収益分配金	△ 1,992,908,305
次期繰越損益金(G+H)	34,676,800,891
追加信託差損益金	8,871,283,216
(配当等相当額)	(5,310,739,877)
(売買損益相当額)	(3,560,543,339)
分配準備積立金	25,805,517,675

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2020年5月15日～2020年11月16日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2020年5月15日～ 2020年11月16日
a. 配当等収益(経費控除後)	238,548,839円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	18,323,569,887円
c. 信託約款に定める収益調整金	8,871,283,216円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	9,236,307,254円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	36,669,709,196円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	5,520円
g. 分配金	1,992,908,305円
h. 分配金(1万口当たり)	300円

<Aコース>

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	300円
------------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

<Bコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年5月15日～2020年11月16日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	130	0.869	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(63)	(0.420)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(63)	(0.420)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(4)	(0.028)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	4	0.026	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(4)	(0.026)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	1	0.005	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(1)	(0.005)	
(d) そ の 他 費 用	1	0.006	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	136	0.906	
期中の平均基準価額は、14,913円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

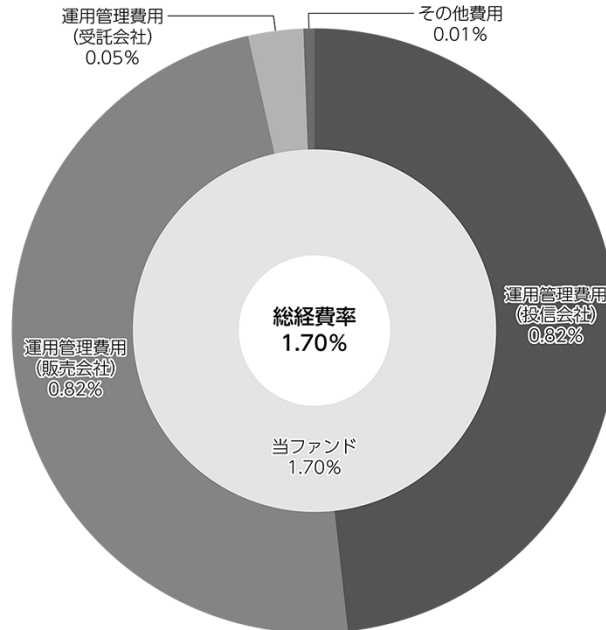
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Bコース>

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.70%です。



(注) 当ファンドの費用は1万円当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<Bコース>

○売買及び取引の状況

(2020年5月15日～2020年11月16日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド	千口 1,152,827	千円 1,824,370	千口 12,185,890	千円 21,262,306

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2020年5月15日～2020年11月16日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	175,249,651千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	200,633,058千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.87

*(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2020年5月15日～2020年11月16日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年11月16日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド	千口 65,495,336	千口 54,462,272	千円 99,911,038

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

＜Bコース＞

○投資信託財産の構成

(2020年11月16日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド	99,911,038	96.6
コール・ローン等、その他	3,479,545	3.4
投資信託財産総額	103,390,583	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（189,771,825千円）の投資信託財産総額（206,009,291千円）に対する比率は92.1%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=104.69円、1ユーロ=123.94円、1香港ドル=13.50円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年11月16日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	103,390,583,432
コール・ローン等	3,479,544,684
野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド(評価額)	99,911,038,748
(B) 負債	3,279,329,665
未払収益分配金	1,950,155,271
未払解約金	413,313,511
未払信託報酬	914,087,949
未払利息	3,794
その他未払費用	1,769,140
(C) 純資産総額(A-B)	100,111,253,767
元本	65,005,175,705
次期繰越損益金	35,106,078,062
(D) 受益権総口数	65,005,175,705口
1万円当たり基準価額(C/D)	15,401円

(注) 期首元本額は75,960,053,620円、期中追加設定元本額は2,202,555,249円、期中一部解約元本額は13,157,433,164円、1口当たり純資産額は1.5401円です。

○損益の状況 (2020年5月15日～2020年11月16日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 190,780
支払利息	△ 190,780
(B) 有価証券売買損益	19,137,845,106
売買益	21,735,356,986
売買損	△ 2,597,511,880
(C) 信託報酬等	△ 915,857,089
(D) 当期損益金(A+B+C)	18,221,797,237
(E) 前期繰越損益金	9,813,465,339
(F) 追加信託差損益金	9,020,970,757
(配当等相当額)	(5,966,523,897)
(売買損益相当額)	(3,054,446,860)
(G) 計(D+E+F)	37,056,233,333
(H) 収益分配金	△ 1,950,155,271
次期繰越損益金(G+H)	35,106,078,062
追加信託差損益金	9,020,970,757
(配当等相当額)	(5,968,108,813)
(売買損益相当額)	(3,052,861,944)
分配準備積立金	26,085,107,305

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<Bコース>

(注) 分配金の計算過程 (2020年5月15日～2020年11月16日) は以下の通りです。

項 目	当 期
	2020年5月15日～ 2020年11月16日
a. 配当等収益(経費控除後)	237,833,776円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	16,448,428,388円
c. 信託約款に定める収益調整金	9,020,970,757円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	11,349,000,412円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	37,056,233,333円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	5,700円
g. 分配金	1,950,155,271円
h. 分配金(1万円当たり)	300円

○分配金のお知らせ

1万円当たり分配金(税込み)	300円
----------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド

運用報告書

第4期（決算日2020年11月16日）

作成対象期間（2019年11月15日～2020年11月16日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	新興国を含む世界各国のAI（人工知能）技術関連の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。銘柄選定にあたっては、グローバルな視点でAI先端技術の研究成果に着目し、AI技術の実用化に伴って投資魅力が高まると考えられるAI関連分野の銘柄群を中心に利益成長に着目した銘柄選択を行います。外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	新興国を含む世界各国のAI（人工知能）技術関連の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		株組入比率	株先物比率	純資産額
		騰	落			
(設定日) 2017年2月23日	円 10,000	% -	% -	% -	% -	百万円 109,154
1期(2017年11月14日)	12,506	25.1	92.0	-	-	263,313
2期(2018年11月14日)	13,611	8.8	95.1	-	-	304,088
3期(2019年11月14日)	15,044	10.5	96.2	-	-	231,096
4期(2020年11月16日)	18,345	21.9	98.2	-	-	200,809

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行なっており、また、当ファンドの主要投資対象であるAI技術関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		株組入比率	株先物比率
		騰	落		
(期首) 2019年11月14日	円 15,044	% -	% -	% 96.2	% -
11月末	15,500	3.0	95.8	-	-
12月末	15,875	5.5	94.2	-	-
2020年1月末	16,411	9.1	98.0	-	-
2月末	15,047	0.0	96.9	-	-
3月末	13,646	△ 9.3	97.6	-	-
4月末	14,840	△ 1.4	93.6	-	-
5月末	15,818	5.1	94.8	-	-
6月末	16,481	9.6	98.5	-	-
7月末	17,014	13.1	97.5	-	-
8月末	18,686	24.2	96.2	-	-
9月末	18,137	20.6	94.1	-	-
10月末	17,943	19.3	95.6	-	-
(期末) 2020年11月16日	18,345	21.9	98.2	-	-

*騰落率は期首比です。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首15,044円から期末18,345円となりました。

- (上 昇) 米中貿易協議において「第1段階」の合意文書が署名されたこと、1月の米ISM製造業景気指数やユーロ圏総合PMI（購買担当者景気指数）が市場予想を上回ったこと、中国人民銀行（中央銀行）により金融市場へ資金供給が行なわれたこと、為替市場で円が下落（円安）したこと
- (下 落) 新型コロナウイルスの感染拡大により、世界的な経済活動の停滞による景気後退への懸念が高まったこと、OPEC（石油輸出国機構）とロシアなど非加盟産油国の減産交渉決裂を受けて原油価格が急落したこと、為替市場で円が上昇（円高）したこと
- (上 昇) 米国で大型経済対策の成立やFRB（米連邦準備制度理事会）による量的緩和策が決定したこと、同ウイルスのワクチン開発の進展が期待されたこと、EU（欧州連合）による復興計画案が公表されたこと、6月の米雇用統計、7月の米ISM製造業景気指数やユーロ圏製造業PMIが市場予想を上回ったこと
- (横ばい) 米中対立の激化や欧米の一部地域での同ウイルスの感染再拡大などを背景に投資家のリスク回避的な動きが強まったこと、為替市場で円が上昇したこと、一方、9月の米ISM非製造業景気指数やユーロ圏総合PMIが市場予想を上回ったこと

○当ファンドのポートフォリオ

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- (1) 当ファンドでは、世界各国の株式の中から、「IT関連」、「産業関連」、「医療・ヘルスケア関連」等の分野を中心に高度なAI（人工知能）先端技術の研究成果に着目し、AIの活用、実用化によって恩恵を受け、高い成長が期待される企業等に投資を行ないました。結果、AIの活用により中長期で成長が期待されるITセクターなどの投資比率を高めとしました。
- (2) 銘柄につきましては、顧客管理システムのクラウドサービスの需要の高まりを背景に中長期的に成長が期待できると判断したセールスフォース・ドットコム（米国のソフトウェア株）や、データセンターなどに用いられる半導体への中長期的な需要の高まりによる恩恵を受けると判断したエヌビディア（米国の半導体・半導体製造装置株）などを買付けしました。一方、新型コロナウイルス感染拡大の影響で航空需要の見通しは不透明感が当面継続すると判断したサフラン（フランスの航空宇宙・防衛株）や、半導体への中長期的な需要の高まりに対する期待は変わらないものの、短期的な業績に対する不透明感が相対的に増したと判断したインテル（米国の半導体・半導体製造装置株）などを売却しました。

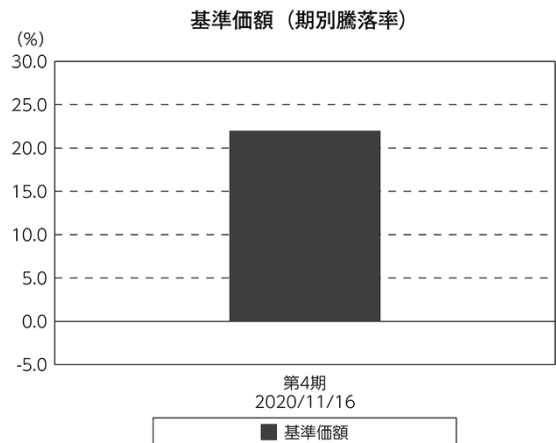
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行なっており、また、当ファンドの主要投資対象であるAI技術関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。

保有銘柄のうち、新型コロナウイルスの感染拡大による影響でeコマース（電子商取引）への需要が高まったことからアマゾン・ドット・コム（米国のインターネット販売・通信販売株）などが上昇したことが基準価額のプラス要因となりました。

一方、同ウイルスの世界的な感染拡大によって航空需要が激減したことからサフラン（フランスの航空宇宙・防衛株）などが下落したことなどが基準価額のマイナス要因となりました。



◎今後の運用方針

・投資環境

米国経済は、現金給付などに支えられて個人消費が持ち直し、7-9月期の実質GDP（国内総生産）成長率が前期比年率+33.1%と、市場予想を上回る急回復を示しました。もっとも米国では、新型コロナウイルスの感染再拡大、接戦となった大統領選挙と政治的混乱のリスク、追加経済対策を巡る与野党合意の更なる遅れなど先行き不透明感の強い状況が続いています。こうした中、FRBは金融緩和姿勢を堅持すると見られます。

・運用方針

当ファンドでは、世界各国の株式の中から、AI先端技術の研究成果に着目し、AIの活用、実用化によって恩恵を受け、高い成長が期待される企業等に投資を行ないます。

外部環境の不透明感が続くなかでも、AI関連などの高成長が期待される分野への注目は引き続き高く、各分野での勝ち組企業がますます強くなるという傾向が目立ちます。加えて、ITセクターだけでなく、幅広い業種や分野でAIを活用した新しい技術やビジネスモデルも普及してきています。引き続き中長期的な競争優位性を見極めることを重視し、銘柄を選択してまいります。

○1万口当たりの費用明細

(2019年11月15日～2020年11月16日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	8 (8)	0.047 (0.047)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	1 (1)	0.007 (0.007)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	2 (2) (0)	0.010 (0.010) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	11	0.064	
期中の平均基準価額は、16,283円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年11月15日～2020年11月16日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 —	千円 —	千株 961	千円 7,302,883
外	アメリカ	百株 56,049 (—)	千米ドル 1,036,099 (△ 270)	百株 104,633	千米ドル 1,558,821
	カナダ	—	千カナダドル —	6,202	千カナダドル 12,596
国	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	7,973	41,952	—	—
	フランス	691	15,069	8,514	77,317
	オランダ	529	18,081	23	774
	香港	80,500	千香港ドル 153,710	25,760	千香港ドル 234,606

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。

* () 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2019年11月15日～2020年11月16日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	309,755,499千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	202,848,184千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.52

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2019年11月15日～2020年11月16日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年11月16日現在)

国内株式

銘 柄	期首(前期末) 当 期 末			
	株 数	株 数	評 価 額	
	千株	千株	千円	
医薬品 (一%)				
ペプチドリーム	389.2	—	—	
機械 (43.2%)				
ダイキン工業	188.7	138.7	3,280,948	
サービス業 (56.8%)				
リクルートホールディングス	962	918.7	4,308,703	
セコム	478.8	—	—	
合 計	株 数 ・ 金 額	2,018	1,057	7,589,651
	銘 柄 数 < 比 率 >	4	2	< 3.8% >

*各銘柄の業種分類は、期首、期末の各時点での分類に基づいています。

*銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

*評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

*評価額の単位未満は切り捨て。

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
ADOBE INC	2,018	2,030	95,276	9,974,446	ソフトウェア
ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	3,704	1,617	42,177	4,415,596	インターネット販売・通信販売
ALPHABET INC-CL A	433	—	—	—	インタラクティブ・メディアおよびサービス
AMAZON.COM INC	655	304	95,115	9,957,675	インターネット販売・通信販売
AMGEN INC	1,655	808	19,178	2,007,816	バイオテクノロジー
ANSYS INC	—	696	22,843	2,391,477	ソフトウェア
AUTOMATIC DATA PROCESS	2,566	—	—	—	情報技術サービス
AVALARA INC	456	1,113	16,873	1,766,442	ソフトウェア
BEIGENE, LTD ADR	—	1,180	32,809	3,434,868	バイオテクノロジー
BIOMARIN PHARMACEUTICAL INC	—	1,209	9,372	981,172	バイオテクノロジー
BIOGEN INC	—	729	18,122	1,897,214	バイオテクノロジー
CME GROUP INC	2,702	2,238	37,141	3,888,380	資本市場
CATERPILLAR INC DEL	1,808	—	—	—	機械
CHEGG INC	—	3,976	27,987	2,929,965	各種消費者サービス
CISCO SYSTEMS	8,797	—	—	—	通信機器
COPART INC	—	2,835	33,370	3,493,587	商業サービス・用品
COUPA SOFTWARE INC	—	492	14,123	1,478,625	ソフトウェア
DANAHER CORP	1,820	2,497	58,599	6,134,791	ヘルスケア機器・用品
DEERE & COMPANY	—	769	19,362	2,027,075	機械
DELTA AIR LINES INC	4,669	—	—	—	旅客航空輸送業
DISNEY (WALT) CO	5,506	2,794	38,657	4,047,083	娯楽
ETSY INC	—	1,102	13,766	1,441,181	インターネット販売・通信販売
FAIR ISAAC CORP	482	—	—	—	ソフトウェア
FORTINET INC	5,178	1,611	18,674	1,955,055	ソフトウェア
GLOBAL PAYMENTS INC	2,328	2,223	41,883	4,384,788	情報技術サービス
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	4,827	2,913	58,708	6,146,203	コングロマリット
IDEXX LABORATORIES INC	1,054	792	35,928	3,761,332	ヘルスケア機器・用品
ILLUMINA INC	1,109	1,225	37,835	3,960,982	ライフサイエンス・ツール/サービス
INTEL CORP	11,747	—	—	—	半導体・半導体製造装置
INTUIT INC	1,129	1,649	58,861	6,162,163	ソフトウェア
INTUITIVE SURGICAL INC	—	434	32,696	3,423,016	ヘルスケア機器・用品
JPMORGAN CHASE & CO	3,528	3,408	38,878	4,070,186	銀行
LOCKHEED MARTIN	1,084	1,036	38,864	4,068,724	航空宇宙・防衛
MASTERCARD INC	1,531	2,548	85,365	8,936,929	情報技術サービス
MERCK & CO INC	3,314	2,376	19,266	2,017,060	医薬品
MICROSOFT CORP	8,715	4,380	94,831	9,927,897	ソフトウェア
MICRON TECHNOLOGY	8,190	—	—	—	半導体・半導体製造装置
NETFLIX INC	741	354	17,092	1,789,417	娯楽
NVIDIA CORP	—	1,307	69,516	7,277,704	半導体・半導体製造装置
PALO ALTO NETWORKS INC	1,928	—	—	—	ソフトウェア
PEPSICO INC	3,032	—	—	—	飲料
SALESFORCE.COM INC	—	3,098	77,298	8,092,348	ソフトウェア
SERVICENOW INC	1,475	1,314	66,752	6,988,320	ソフトウェア
SHOPIFY INC - CLASS A	—	146	13,407	1,403,597	情報技術サービス
STARBUCKS CORP	—	3,791	36,226	3,792,583	ホテル・レストラン・レジャー
STRYKER CORP	1,401	—	—	—	ヘルスケア機器・用品
TEXAS INSTRUMENTS INC	2,793	—	—	—	半導体・半導体製造装置
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	—	1,201	58,679	6,143,173	ライフサイエンス・ツール/サービス
3M CORP	2,512	—	—	—	コングロマリット
UNITEDHEALTH GROUP INC	—	547	19,455	2,036,759	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
VEEVA SYSTEMS INC-CLASS A	—	515	13,643	1,428,325	ヘルスケア・テクノロジー

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
VERTEX PHARMACEUTICALS	—	920	20,747	2,172,091	バイオテクノロジー	
WORKDAY INC-CLASS A	1,674	1,308	29,037	3,039,946	ソフトウェア	
ZOETIS INC	2,319	2,319	38,444	4,024,742	医薬品	
ZOOM VIDEO COMMUNICATIONS-A	—	483	19,492	2,040,713	ソフトウェア	
ATLASSIAN CORP PLC-CLASS A	2,462	1,159	22,347	2,339,595	ソフトウェア	
NORWEGIAN CRUISE LINE HOLDIN	2,038	—	—	—	ホテル・レストラン・レジャー	
TE CONNECTIVITY LTD	5,884	—	—	—	電子装置・機器・部品	
CYBERARK SOFTWARE LTD/ISRAEL	—	654	6,929	725,479	ソフトウェア	
FIVERR INTERNATIONAL LTD	—	580	10,051	1,052,281	インターネット販売・通信販売	
小 計	株 数 ・ 金 額	119,264	70,680	1,675,697	175,428,823	
	銘柄 数 < 比 率 >	39	45	—	< 87.4% >	
(カナダ)			千カナダドル			
CAE INC	6,202	—	—	—	航空宇宙・防衛	
小 計	株 数 ・ 金 額	6,202	—	—	—	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	—	—	< 1% >	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
DAIMLER AG-REGISTERED SHARES	—	7,973	41,860	5,188,236	自動車	
小 計	株 数 ・ 金 額	—	7,973	41,860	5,188,236	
	銘柄 数 < 比 率 >	—	1	—	< 2.6% >	
(ユーロ…フランス)						
ATRBUS SE	2,546	—	—	—	航空宇宙・防衛	
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SE	631	655	30,782	3,815,151	繊維・アパレル・贅沢品	
SAFRAN SA	5,798	500	5,675	703,359	航空宇宙・防衛	
小 計	株 数 ・ 金 額	8,977	1,155	36,457	4,518,511	
	銘柄 数 < 比 率 >	3	2	—	< 2.3% >	
(ユーロ…オランダ)						
ASML HOLDING NV	—	505	17,833	2,210,307	半導体・半導体製造装置	
小 計	株 数 ・ 金 額	—	505	17,833	2,210,307	
	銘柄 数 < 比 率 >	—	1	—	< 1.1% >	
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額	8,977	9,634	96,151	11,917,055	
	銘柄 数 < 比 率 >	3	4	—	< 5.9% >	
(香港)			千香港ドル			
PING AN INSURANCE GROUP CO-H	25,760	—	—	—	保険	
ALIBABA HEALTH INFORMATION TECHNOLOGY LT	—	80,500	163,415	2,206,102	ヘルスケア・テクノロジー	
小 計	株 数 ・ 金 額	25,760	80,500	163,415	2,206,102	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 1.1% >	
合 計	株 数 ・ 金 額	160,203	160,814	—	189,551,980	
	銘柄 数 < 比 率 >	44	50	—	< 94.4% >	

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2020年11月16日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 197,141,632	% 95.7
コール・ローン等、その他	8,867,659	4.3
投資信託財産総額	206,009,291	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建て純資産（189,771,825千円）の投資信託財産総額（206,009,291千円）に対する比率は92.1%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=104.69円、1ユーロ=123.94円、1香港ドル=13.50円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年11月16日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	206,009,291,715 円
コール・ローン等	8,790,296,763
株式(評価額)	197,141,632,421
未収配当金	77,362,531
(B) 負債	5,199,536,434
未払金	5,199,532,702
未払利息	3,732
(C) 純資産総額(A-B)	200,809,755,281
元本	109,462,598,468
次期繰越損益金	91,347,156,813
(D) 受益権総口数	109,462,598,468口
1万口当たり基準価額(C/D)	18,345円

(注) 期首元本額は153,615,749,949円、期中追加設定元本額は138,006,133,268円、期中一部解約元本額は182,159,284,749円、1口当たり純資産額は1.8345円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
・野村グローバルAI関連株式ファンド Aコース 55,000,326,051円
・野村グローバルAI関連株式ファンド Bコース 54,462,272,417円

○損益の状況 (2019年11月15日～2020年11月16日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	1,302,054,018 円
受取配当金	1,289,056,120
受取利息	15,993,748
支払利息	△ 2,995,850
(B) 有価証券売買損益	40,261,903,155
売買益	62,159,094,863
売買損	△ 21,897,191,708
(C) 保管費用等	△ 21,455,460
(D) 当期損益金(A+B+C)	41,542,501,713
(E) 前期繰越損益金	77,480,455,238
(F) 追加信託差損益金	85,309,641,719
(G) 解約差損益金	△112,985,441,857
(H) 計(D+E+F+G)	91,347,156,813
次期繰越損益金(H)	91,347,156,813

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。

<お申し込み時の留意点>

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようよろしくお願いいたします。

(2020年11月16日現在)

年 月	日
2020年11月	26
12月	25、28

※2020年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご留意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。